



The 50th Anniversary SUZUKI METHOD
GRAND CONCERT



たくさんのありがとう。生命の音、未来へのエナジー
We are grateful that music will inspire our future



March 30th, 2004 at the Nippon Budōkan



優れた「心」を育てよう

Nurturing Fine and Good-hearted People



(社)才能教育研究会会長
豊田 耕児

Koji Toyoda
President,
The Talent Education Research Institute

グランド・コンサート、即ち、才能教育全国大会は今回50周年の節目を迎え、天皇陛下、皇后陛下両陛下の御臨席を賜る光栄に浴し、又、高円宮妃殿下、及び、各国の大使閣下の御来駕を仰ぎ、盛大に執り行われることになりました。思えば、昭和30年、千駄ヶ谷の東京体育館で行われた第1回全国大会には当時の皇太子殿下及び宮様方にお越し頂いたことでした。感動と共に深い感謝の気持ちで一杯です。故鈴木鎮一先生がこの席においでになられたら、そのお喜びは測り知れないものでしたでしょう。胸のつまる想いです。

50年の歴史を省みますと、ダヴィド・オイストラフやウィリアム・プリムローズ、近衛秀麿、グレン・ドーマンなどの素晴らしいお客さまをお迎えすることが出来ました。卒業生からは世界の音楽界に羽搏いた方々が沢山出ましたし、各界のリーダー格になられた方々も多く出ております。皆、鈴木先生の希われたように、片や単なる音楽家ではなく、片や専門筋の高度な智恵と技術を備えたリーダーとしてだけでなく、何よりも高度なセンスを持ち合せた心ある「人間」として今日活躍しておられることです。人間の「心」を育てようと言うのが、才能教育、即ち、スズキ・メソッドの教育の鍵であり目的であります。今や、この「心」こそ、我が国と言わず、全世界で求められる時が来ているのではないのでしょうか。それが、Bach、Mozart、Beethovenのような偉大な音楽家の精神と作品を通して実現しようというものです。

鈴木先生は「全世界の総ての子供の幸せの為に」と希われました。そうです！この教育は主義でも信仰でもありません。総ての人間が共有すべき自然の恵み、天の賜物なのです。

「どの子も育つ、育て方一つ」どの子も高度な能力、心に育てられる権利を持っています。どうか皆さん、この教育を真心と叡智を持って伝え、広め、実践して頂きたい。これからです。

今日はお祝いの一つとしてとても才能教育らしい微笑ましいことがございます。才能教育は元々家庭教育です。その家庭のサロンがこの武道館になりました。お子さん達が楽器を持ち、お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんがその美しい(!)声を披露します。大賀典雄先生の指揮でヘンデルの「ハレルヤ」が、この会場に高らかと響き亘ることでしょう。

音……不思議な
生命の血
そこに托された
人間の心、生命……
安んずく生きる
無形の美しさ
何と生きていく
ことよ



言葉:写真集「才能教育・鈴木鎮一の世界」より

第50回記念

スズキ・メソッド グランドコンサート

2004年3月30日(火)午後1時30分開演
日本武道館(東京九段)

後援

東京都・毎日新聞社・読売新聞社・日本経済新聞社・産経新聞社
東京新聞・テレビ朝日・TBS

協力

関東地区 支部長会

主催

才能教育研究会

第50回グランドコンサートでは、下記の収録及び放送予定があります。

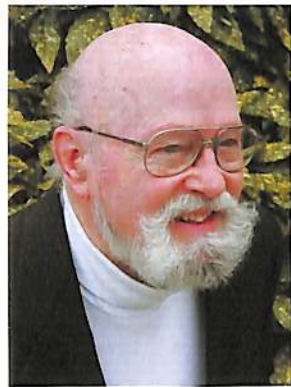
- 1.インターネットライブ中継(So-net)
- 2.インターネットオンデマンド中継(So-net)
- 3.SKY PerfecTV! So-netチャンネル749
- 4.DVD製作及び販売(So-net)
- 5.ソニーWEV「ワールドイベントビレッジ」(インターネットによる公開)

そのため、ご参加いただく場合には、記録映像、録音に関する全ての権利と、将来にわたる運営管理、販売についての権利が、社団法人才能教育研究会及びソニー株式会社、ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社に帰属し、対価及び異議を一切求めない旨のご承諾を得たものと致します。

生命の音、未来へのエナジー

Music will inspire our future





元アメリカスズキ協会会長
ジョン・ケンドール
John Kendall
Former President of SAA

Profile

Born in 1917, he attended the Oberlin College Conservatory, Columbia University Teachers College, the Juilliard School of Music and Indiana University. Inspired by a film of a performance in Tokyo first Grand Concert, he became the first American string teacher to observe and study in Japan the Suzuki teaching approach of music education. He came to Japan in 1959. He established a graduate program in string pedagogy, emphasizing both performance and the Suzuki teaching method, attracting students and teachers over the years.

プロフィール

1917年生まれ。オベリン・カレッジ・コンサーヴァトリー、ジュリアード音楽院、インディアナ大学他で学ぶ。第1回全国大会の記録映画に感銘を受け、アメリカの弦楽指導者としては初めてスズキの指導法を研究するため1959年来日。長年にわたるスズキ・メソッド教育法のもとに多数の生徒や先生の指導に当たる。

Our Future with Music

限りなき創造の世界を

Dear Friends,
Half a century of beautiful music! Half a century of wonderful children!
And today we celebrate this fiftieth Anniversary concert at the Budokan Hall in honor of Shinichi Suzuki, whose vision, leadership, and spirit have meant so much to so many.

Fifty years ago, who would have thought that Suzuki's ideas were to spread over all the world, and become a profound influence in the fields of music, education, and early childhood research.

...Now, we look forward to expanding horizons, as we honor the memory of a great human being, and the heritage he has left with us.

Sincerely,
John Kendall

鈴木先生の無限の愛を享受されている皆様へ

美しい音楽とその音楽に支えられた子供たちと共に、半世紀!!

この素晴らしい日々感謝をこめて、ここ武道館で鈴木先生を記念した第50回の演奏会が開かれますことを心からお祝い申し上げます。鈴木先生の素晴らしい音楽の高みへと近づけるための指導力、なによりも音楽を愛するお心は、今でも私たちに計り知れない大きなものを与えて下さっています。

50年前鈴木先生の理念がこれほどまで世界中に広まるとは、そして、音楽や教育や早期幼児教育の分野に、これほどまでに多大な影響を与えるとは、誰が考えたことでしょうか。

さあ皆さん、鈴木先生のご遺徳を忘れることなく、先生が私たちに遺された音楽と子供たちに対する慈しみの心を持って、限りなき創造の世界を求め続けて行きましょう。

親愛をこめて
ジョン・ケンドール

Special Thanks

文化人と子供たちの共演

Collaboration of Well Known Leader and Children



ソニー名誉会長
大賀 典雄
Norio Ohga
Honorary Chairman
of the Sony Corporation

第50回の記念にすばらしい共演が実現することとなりました。企業人、文化人、音楽家としてもご活躍の、ソニー株式会社名誉会長、大賀典雄さんが、プログラム「ハレルヤ・コーラス」で、スズキ・メソッドの子供たちと今回のために集まってくださった合唱団を指揮してくださいます。

As a commemoration of the 50th Grand Concert, this wonderful event of collaboration has come true. Honorary Chairman of the Sony Corporation, who is outstandingly active as corporate executive, and in the fields of music and culture, Mr. Norio Ohga has kindly accepted to conduct "Hallelujah Chorus" to which the Suzuki Children and the special choir have assembled for.

プロフィール

1930年生まれ。東京芸術大学卒業後、ドイツに留学。ベルリン国立高等音楽大学を卒業。ソニー株式会社社長、会長を歴任し、現在は名誉会長。2001年11月、勲一等瑞宝章受賞。1990年、運慶を機に音楽活動を開始し、世界有数のオーケストラを指揮している。

Profile

Born in 1930. Graduated from Tokyo National University of Fine Arts and Music, The Berlin University of the Arts. He entered Sony Corporation in 1959. 2003 to present, Honorary Chairman. He received Grand Cordon of the Order of the Sacred Treasure.



桐朋学園大学教授
小林 健次
Kenji Kobayashi
Professor of
Toho Gakuen School of Music

プロフィール

1933年東京に生まれる。幼少より鈴木鎮一氏に師事。1952年ジュリアード音楽院に留学しガラミアン氏に師事。1961年ニューヨーク・タウンホールで初リサイタル。同年ゴールドベルグ氏の招きにより渡欧。1972~90年東京都交響楽団ソロコンサートマスターを務める。1974年ニューアーツ弦楽四重奏団を結成。文化庁芸術祭優秀賞、朝日現代音楽賞他を受賞。現在、桐朋学園大学教授として国際的に活躍するヴァイオリニストを多く育てている。

Profile

Born in 1933. He began studying the violin with Dr. Suzuki at a very early age. From 1952, he attended The Juilliard School and studied with Galamian. After a successful concert at the New York Town Hall in 1961, he was invited to study with Goldberg in Europe, which lead to many performances. He served as concertmaster for the Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra 1972-1990. In 1974, he formed the New Arts String Quartet. He has been the recipient of the National Arts Festival Excellence Award, Asahi Contemporary Music Award, and other honorable awards. At present, he is a professor at the Toho Gakuen School of Music. Under his guidance, students lead international careers as violinists.

高い感覚と美しい心

A Good Heart and Refined Sensitivities

才能教育研究会第50回記念グランドコンサート おめでとうございます。

「愛深ければなすこと多し」「どの子も育つ」「人は環境の子なり」等、第二次世界大戦後の文化的にも荒廃していた日本の音楽教育に、愛情溢れる革命的な一石を投じたスズキ・メソッドは、いまや日本全国はもとより欧米各国において、より広く発展していると聞きます。またスズキ・メソッドにより幾多の国際的に活躍する日本人演奏家が巣立っていったのも、このメソッドが単に音楽をするための技術だけでなく、高い感覚や美しい心の人間をめざして、国をあげて幼い子供の時代から生活の中に芸術を育てようという高い目標を持っていたからに他なりません。

昨年夏、私は松本の夏期学校に久しぶりに参加致しました。締めくくりの合奏のキラキラ星変奏曲ではステージからはみ出した子供たちが客席の後方まで行進して来て立体演奏に囲まれた形になりました。たまたま5才くらいの女兒が間近に来たのを豊田会長に促されて見ると、トナリゼーション*をしっかりと身につけた、集中力も見事な演奏に接することができました。立派な指導者と、一生懸命で愛情のこもったお母さんがいる事も想像できました。ひたむきに弾く豆音楽家たちに愛のある環境をいつまでも提供できる様に、よりたくさんの方の力強い協力者を得てスズキ・メソッドの更なる繁栄をお祈りいたします。

*トナリゼーション (Tonarization) : 声楽の発声法 (Vocarization) から学び、弦楽器でも美しく弦を鳴らすことが大切と考えて鈴木先生が作った造語。スズキ・メソッドの大切な奏法。

I wish to extend my congratulations on this occasion of the 50th Celebration Grand Concert.

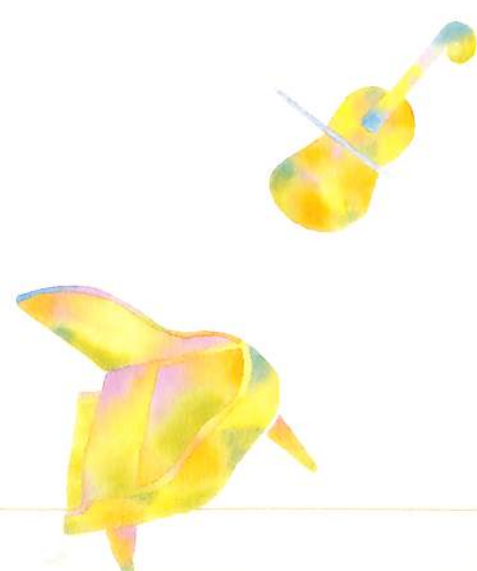
"If love is deep, much can be accomplished." "Every child can." "Man is the child of his environment."

The Suzuki Method brought hope and light to music education in a devastated post-war Japan, and this method which promotes education through love has since continued to flourish in Europe and America, as well as in Japan. There are many musicians who began their study with the Suzuki Method, and have now become performers who are active internationally. The method not only developed their music to a high technical standard, but attention was also given to the development of their spirit; a good heart and refined sensitivities.

Last summer, I attended the summer institute in Matsumoto. The final group performance of the Twinkles Variations became a spectacular event with children filling the stage, aisles and surrounding hall. Koji Toyoda pointed out a young girl, about 5 years old, who happened to be playing violin near our seats. I was impressed with her accomplished Tonalization* and the concentration she displayed in her playing. I was able to imagine what a good teacher she had, and the love her mother had for her.

Seeing the sincere expressions of the little musicians that day, I hoped that the Suzuki Method would continue to gain support and flourish in order to provide the best possible environment for their futures.

*Tonalization ; beautiful tone production technique taught to all Suzuki Method students





第50回グランドコンサート大会委員長
才能教育研究会常務理事
中嶋 嶺雄

Prof. & Dr. Mineo Nakajima
Chairman of the 50th Grand Concert,
Permanent Board Member of the TERI

歴史的な画期としてのグランドコンサート

The 50th Grand Concert: As a Historical Landmark

まさに半世紀にわたって毎年続けられてきたグランドコンサートは、単に私たち才能教育研究会にとっての一大イベントであるばかりか、わが国の音楽教育界にとっても、また世界の幼児教育界にとっても、きわめて大きな歴史的な意味をもってきたといえましょう。

今回のグランドコンサートのテーマは、「たくさんのありがとう。生命の音、未来へのエネルギー」というものですが、これまでへの感謝をこめて未来への夢を育むという意味から、50回の区切りに相応しいものだと思います。

ところで、最近では、欧米諸国のみならずアジアでも、たとえば韓国、台湾などでも、幼児教育の重要性が改めて認識されつつあり、わが国でも文部科学省中央教育審議会が2003年3月に答申した「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画」のなかには、幼児教育、感性教育の大切さがはっきりと書き込まれています。

この点でもスズキ・メソッドは先駆的だといってよく、亡き鈴木鎮一先生の先見性が改めて再認識されるべきだといえましょう。なぜなら、スズキ・メソッドは、音楽を通じて幼児期から「型」を身につけるとともに、能力に応じた教育によって、個々人の表現力や創造性を培う個性重視の教育だからです。そしてグランドコンサートは、そのような生徒一人ひとりの個性を基礎にした協調の精神と方法を学ぶための絶好の機会だといえましょう。

このところ、豊田耕児会長の指導のもとで、グランドコンサートの質的な向上と内容的な多様化も著しく、毎年に充実してきていますので、第50回のコンサートはさらに素晴らしいものになるものと期待されます。演奏に加わる生徒さんたちはもとより、指導者の先生方、保護者の方々一同が、大いに頑張っていて、歴史に残る記念碑的なグランドコンサートにしていきたいと思っています。そして記念すべき今日の一日を大いに楽しんでください。

プロフィール

1936年生まれ。松本音楽院第一期生。才能教育研究会常務理事。国際社会学者。東京大学大学院卒・社会学博士。専門は国際関係論・中国アジア研究。前東京外国語大学学長。現在、国際教養大学学長予定者、アジア太平洋大学交流機構(UMAP)国際事務総長、(財)大学セミナーハウス理事長、文部科学省中央教育審議会委員(大学院部会長)など兼任。

The Grand Concert, held annually over the past half century, is the main event of the Talent Education Research Institute. It has had great significance for the arena of Japan's music education and early childhood education in the world as well.

"We are grateful that music will inspire our future" is the selected theme to mark this 50th celebration concert. It appropriately expresses our desire to have thanks for the past and hope for the future.

Recently, the importance of early childhood education is being emphasized in Europe, America and in Asia such as South Korea and Taiwan. In Japan, in March 2003, the Central Council for Education of the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) issued a final report entitled "The Fundamental Law of Education and the Basic Educational Promotion Plan for the new age". The importance of early childhood education and development of aesthetic sensitivities was stated clearly in this report.

The founder of the Suzuki Method, Dr. Shinichi Suzuki was aware of this point a long time ago. He was a real pioneer. Using music education, the Suzuki Method, allows children to build the basics and gain the discipline which then enables them to develop the ability to express individual creativity. The Grand Concert is a wonderful opportunity for such children to come together to create music in the spirit of cooperation.

Under the leadership of Prof. Koji Toyoda, the quality of the Grand Concert continues to improve year by year. We can certainly expect an outstanding performance for the historic 50th Grand Concert. My best wishes to all participating students, their parents and teachers, and I hope you will enjoy this very memorable day.

Profile

Born in 1936. One of the first students of Dr. Suzuki's class at the Matsumoto Music School. Permanent Board Member of the Talent Education Research Institute. Acquired M.A. in International Relations and Ph.D. in Sociology from the University of Tokyo. A specialist in International Relations, China and Asian Studies. Former President of the Tokyo University of Foreign Studies. Currently, President Designate of the Akita International University, Secretary-General, International Secretariat, University Mobility in Asia and Pacific (UMAP). President, Inter-University Seminar House, Inc. A member (Chairman of the Graduate School Committee) of the Central Education Council, the Ministry of Education, Culture, Sports, Science, and Technology (MEXT).



第50回グランドコンサート
実行委員長
佐藤 満

Mitsuru Sato
Chairman of the 50th Grand Concert
Executive Committee

ありがとう! 子供たちの輝いた姿

Gratefulness to the Beaming Faces of Children

グランドコンサートに、ようこそおいでくださいました。

今年で50回を迎えますこのコンサートは、私が生まれて数ヵ月後に始まりました。自分の人生と同じ歴史がある事を思うと感慨深いものがあります。私もまた親に手を引かれ、このコンサートに足を運びました。会場までの風景や、会場だった東京体育館のただっ広いフロアで演奏しているシーンなど、今でも思い出されます。今、指導をされている先生たちの多くも、同じ様に子供の頃このグランドコンサートで演奏してきました。皆、それぞれの両親や先生たちに導かれ、育てられてきたのです。当時の写真や記録ビデオなどで子供の頃の姿を見ると、私たちがファミリーだと強く感じさせられます。

このグランドコンサートは、鈴木鎮一先生はじめ、多くの諸先輩方と、ご両親の善意と努力によって引き継がれてきました。今まで何万という数の子供たちが参加し、そのたびに、その心に何か良いもの、温かいもの、喜びの原風景を刻みつけてきたことでしょう。子供たちが演奏している時のこの輝いた姿は、子供たちを取り巻いている環境としての大人たちの「子供の幸せを願う」その思いによって成された結果だと思えます。カザルスをも感動させた諸先輩方の「愛と誠実」、また、この50回に及ぶグランドコンサートに携わってこられたすべての方々の善意に、心からの感謝を捧げます。

本日は、海外からも“スズキ”の生徒さんが参加してくださいました。またインターネットを通じてご覧くださっている方も世界中に数多くおられることでしょう。皆様方と、ともにこの第50回のグランドコンサートを祝い、子供たちの演奏を喜びあいましょう。そして、心を一つにして叫びたいと思います。

「地上の総ての子供の上に幸あれ」と!

Welcome to the 50th Grand Concert. It is hard to believe that first Grand Concert has been held since the time I was born. I have fond memories of playing in the concert as a child, and many of the teachers here today must also have performed in past concerts as young children. It is with the guidance of our parents and teachers, we were able to share this precious experience, bringing us together as members of the Suzuki Family.

It is through the efforts of Shinichi Suzuki, teachers and families that the Grand Concert has been continued. Thousands and thousands of children have experienced joy, and lasting memories have been made. Our deep wish to bring happiness to all children has made this event possible. I would like to express my gratitude to all those who have given their time and energy in a spirit of "Love and Sincerity" for this purpose.

Suzuki children from around the world have joined us to play today. We also have worldwide viewers via the Internet. Together, we will all celebrate the 50th Grand Concert and wish happiness for each child in the world.



第50回 スズキ・メソッド グランドコンサート 午後1時30分



◆ ヴァイオリン オーケストラ伴奏 Violin with orchestral accompaniment	協奏曲 ホ短調 作品64 第3楽章メンデルスゾーン Violino Concerto in E minor, Op.64 3rd mov. F. Mendelssohn
◆ フルート Flute	葦笛の踊り「くるみ割り人形」よりチャイコフスキー Danse des Mirlitons from "The Nutcracker" P. Tchaikovsky セレナーデドリゴ Serenade R. Drigo 歌の翼にメンデルスゾーン On Wings of Song F. Mendelssohn アマリリスギス Amaryllis J. Ghys
◆ 箏 Koto	正派邦楽会の皆様による祝賀演奏 Congratulatory Performance by Seiha Hogakukai わらべ歌唯是震一 Wordless songs of children Shinichi Yuize 羽根つき Play battledore and shuttlecock 提灯行列 Lantern parade アイヌの子の踊り Dance of Ainu children
◆ チェロ Cello	エレジーフォーレ Élégie G. Fauré 白鳥サン＝サーンス The Swan Saint-Saëns スケルツォウェブスター Scherzo C. Webster 主題「妖精の踊り」からバガニーニ Theme from "Witches Dance" N. Paganini リゴードンパーセル Rigadoon H. Purcell むすんでひらいて・フランス民謡外国民謡 Go Tell Aunt Rhody・French Folk Song Folk Song
◆ ピアノ Piano	ロンドモーツァルト Rondo W.A. Mozart ガヴォットバッハ Gavotte J.S. Bach ソナチネ 作品36の3 第1楽章クレメンティ Sonatina Op.36-3, 1st mov. M. Clementi
◆ オーケストラ 合唱付き Orchestra with Chorus	ハレルヤ・コーラス オラトリオ「メサイア」よりヘンデル Chorus "Hallelujah!" from the Oratorio "Messiah", HWV56 G.F. Händel
休 憩 Intermission	
◆ ヴァイオリン Violin	2つのヴァイオリンのための協奏曲 作品3の8 イ短調 第1楽章ヴィヴァルディ Concerto for 2 violins in A minor, Op.3-8 1st mov. A. Vivaldi アレグロフィッコ Allegro G.H. Fiocco カントリーダンスウェーバー Country Dance C.M.von Weber 協奏曲 イ短調 第1楽章ヴィヴァルディ Concerto in A minor, 1st mov. A. Vivaldi ユーモレスクドヴォルザーク Humoresque A. Dvořák
◆ 全科による合奏 Violin, Cello, Flute, Piano	ガヴォット「ミニヨン」よりトマ Gavotte from "Mignon" A. Thomas 狩人の合唱ウェーバー Hunter's Chorus C.M.von Weber 合唱「ユダスマカベウス」よりヘンデル Chorus from "Judas Maccabaeus" G.F. Händel メヌエット 第2番バッハ Minuet No.2 J.S. Bach 楽しい朝・アレグロ鈴木鎮一 Andantino・Allegro Shinichi Suzuki こぎつね・ちょうちょう外国民謡 Song of the Wind・Lightly Row Folk Song キラキラ星変奏曲鈴木鎮一 Twinkle, Twinkle, Little Star Variations Shinichi Suzuki



ヴァイオリン

協奏曲 ホ短調 作品64 第3楽章 メンデルスゾーン

ヴァイオリン協奏曲といえばメンデルスゾーンを思い出す、有名な美しい曲です。スズキ・メソッドの子どもたちにとっては、憧れの、最後の卒業課題曲です。ソロパート、オーケストラパートともに上級生たちは練習を重ねてきました。豊田耕児会長の指揮で、どうぞお楽しみください。

フルート

葦笛の踊り チャイコフスキー

1892年に書かれたチャイコフスキーのバレエ音楽「くるみ割り人形」の中の曲です。クリスマスの夜ハツカネズミとの戦いに敗れそうになったくるみ割り人形(王子)を助けた少女クララは、王子にお菓子の国のお城へ招かれ、アーモンド菓子の羊飼いの女が葦笛(3本のフルート)を吹いて踊る「葦笛の踊り」でもてなされます。本日は3部のフルートと管楽アンサンブルで演奏いたします。

アマリリス ギス

春に咲く、華やかなアマリリス。中間部のトリオは、どのパートも旋律とハーモニーの響きが美しく、アンサンブルが楽しめる編曲です。3部のフルート、特殊管のアルトフルート、バスフルート、コントラバスフルートのフルートアンサンブルで演奏いたします。

チェロ

エレジー フォーレ

日本語では「悲歌」と訳されるこの曲を聴くと、チェロの音は、なんと奥深く説得力のある音色なのだろうと感じられることと思います。深い重低音、訴えかける中音域、むせび泣く高音。私たちの心をグイグイ引きつけて離しません。フォーレは心憎いまでにチェロの魅力をこの曲に託しました。鈴木鎮一先生が敬愛したカザルスの80歳の誕生祝にマレシャルやカサドなど「チェロの名手たち10人」が演奏したのも、このエレジーでした。

白鳥 サン＝サーンス

ライオン、ロバ、ゾウ、カンガルー、化石! ピアニスト!?が登場する組曲「動物の謝肉祭」13番目の曲です。サン＝サーンスは、この組曲の出版を許さなかったのに「白鳥」だけは出版を許可しました。作曲者自身もお気に入りの曲だったのかもしれませんが。

ピアノ

ソナチネ 作品36の3 第1楽章 クレメンティ

「クレメンティのソナチネ」と言えば、ピアノを習えば必ず勉強するおなじみの曲。本日演奏するOp.36の3 第1楽章は初等科の卒業課題曲です。音階を駆使して華麗に動くメロディーの華やかさは、ピアノの名手クレメンティならではの名曲でしょう。今回はロンド、ガヴォットの2曲とともに、グランドコンサート初の試みである4台のピアノ演奏でお聴きください。アンサンブル用に編曲されたこの3曲を小さなピアニストたちが息を合わせて演奏いたします。

オーケストラ 合唱付き

ハレルヤ・コーラス オラトリオ「メサイア」より ヘンデル

ハレルヤは、ヘンデルのオラトリオ「メサイア(救世主)」の第2部を締めくくり、全能の神キリストを賛える大合唱曲です。1742年ダブリン初演の際、国王ジョージ2世が感激の余り立ち上がったので、それ以来起立して聞く習慣が今も残っています。ヘンデルは1685年ドイツに生まれ、当時流行のコーラルの旋律を巧みに取り入れる作曲方法もJ・S・バッハと同じです。ハレルヤでは中間部にそのコーラルのメロディーが出てきます。ハレルヤは、モチーフがモーツァルトのハ短調ミサやリッツ等の交響曲、ベートーヴェンのミサソレムニスにも使われ、後世に多くの影響を与えつつ、変わらず親しまれ歌い継がれている名曲です。 文:吉川清

ヴァイオリン

2つのヴァイオリンのための協奏曲 作品3の8 第1楽章 ヴィヴァルディ

400曲近くの協奏曲を残したというヴィヴァルディの「調和の靈感」の協奏曲集に含まれ、どちらも大変に充実した名曲です。ヴィヴァルディは、ヴァイオリン奏者を父とするイタリアの作曲家で、15歳で聖職に就き、父親譲りの髪の色から「赤毛の僧」と呼ばれていました。誰もが弾きたいと目標にし、スズキの子どもたちが最も得意とする、イ短調 協奏曲は、印象的な冒頭のメロディーが、一度聞いたら忘れられない不思議な力を持っています。ハンガリーのヴァイオリニスト、ナッシュェによる、ひと味ロマンティックな編曲をお楽しみください。

アレグロ フィッコ

快速に、活発に、元気よく、という意味の音楽用語「アレグロ」そのままに、テンポの速い、とても快活な曲です。もとはチェンバロ曲だけに軽やかで、まるでヒヨコが走っているような気がしませんか? 実は「フィッコ」がうまく言えず、「ヒヨコ」のアレグロと思っている生徒も多いそうです。豆ヴァイオリニストの左手が指板(ヴァイオリンの弦を指で押さえる板)の上を動き回る様はまさに圧巻です。

ユーモレスク ドヴォルザーク

お母さんが子どもに弾いてほしい曲No.1と言って過言ではないでしょう。人間の気分を意味するラテン語から作られたユーモレスクという言葉は、音楽ではファンタジーとユーモアのあるメロディーの美しい小品の題名として使われています。

全科による合奏

メヌエット 第2番 バッハ

メヌエット第2番は、バッハが妻のアンナ・マクダレーナに贈ったクラヴィア(ピアノ)練習のための音楽帳に入っている、軽やかなリズムの3拍子の踊りの曲で、スズキ・メソッドでは全科において取り入れられています。

キラキラ星変奏曲 鈴木鎮一

全世界に広がるスズキ・チルドレンの共通語「キラキラ星変奏曲」は、それ以前の常識を覆し、短い音の反復を弾くことから始めるという画期的な曲でした。それはヴァイオリンだけに留まらずピアノ、フルート、チェロ各科に応用され「生命ある音」を作りだす源となりました。「子供の上に幸あれ」と祈り続けた鈴木鎮一が託した願いは、私たちの願いでもあります。子どもたちのエネルギーに満ち溢れた演奏とともに世界中に届きますように!



2003年行事

- | | | | |
|------|--|----------|--|
| 3/31 | 第51回卒業式
第49回スズキ・メソッド グランドコンサート
日本武道館 | 5/10 | 第6回スズキチルドレンピアノコンサート
横浜フィリアホール |
| 21 | 2003年ピアノ科卒業式
甲信地区
才能教育会館ホール | 5/26-29 | 全国指導者研究会
浜松 |
| 27 | 2003年ピアノ科卒業式
関東、北海道・東北地区
ティアラこうとう | 7/30-8/2 | 第54回夏期学校
松本 |
| 29 | 2003年ピアノ科卒業式
東海地区
しらかわホール | 9/15 | スズキデー記念ピアノコンサート
関東地区
なかのZERO大ホール |
| 4/1 | 2003年ピアノ科卒業式
関西、中国・四国、九州地区
メルパルクホール | 10/26 | スズキデー記念ピアノコンサート
甲信地区
塩尻レザンホール |
| 6 | 2003年ピアノ科卒業式
沖縄地区
パレット市民劇場 | 11/9 | スズキデー記念ピアノコンサート
沖縄地区
シュガーホール |
| 14 | 国際スズキ・メソッド音楽院入学式
才能教育会館ホール | | |

2004年行事予定

- | | | | |
|------|---------------------------------------|----------|---------------------------------------|
| 3/20 | ピアノ科卒業式
甲信地区
才能教育会館ホール | 4/12 | 国際スズキ・メソッド音楽院入学式
才能教育会館ホール |
| 21 | ピアノ科卒業式
沖縄地区
具志川市民芸術劇場 響ホール | 17 | 第7回スズキチルドレンピアノコンサート
沖縄
パレット市民劇場 |
| 27 | ピアノ科卒業式
東海地区
しらかわホール | 5/17-20 | 全国指導者研究会
浜松 |
| 4/1 | ピアノ科卒業式
関東、北海道・東北地区
なかのZERO大ホール | 7/30-8/2 | 第55回夏期学校
松本 |
| 3 | ピアノ科卒業式
関西、中国・四国、九州地区
メルパルクホール | | |

スズキ・メソッドの
奇蹟と軌跡

一人の愛からはじまった
子どもたちの未来を育む挑戦



「世界中の子どもたちは皆、母国語を自由に話しているではないか」

この発見は鈴木鎮一にとって跳び上がらんばかりのものだったといいます。

どの子も生まれながらにもっているその優れた能力をあますところなく育てたい…。

こんな一人の思いで「どの子も育つ、育て方ひとつ」の才能教育運動ははじまりました。

原点には親の理解と愛

才能教育がはじまった1946年は、終戦直後の食べるものにも苦労していた時代。それでもたくさんの子どもたちが県内外から電車を乗り継ぎ松本までレッスンに通いました。それを支えたのは才能教育に心酔した親たちの思いでした。



会場に鳴り響く一千人の大合奏 日本に、世界に衝撃を与えた

すばらしい子どもたちの姿を、日本中、世界中の人たちに見てほしい。
そう考えた鈴木鎮一は、1955年、第1回のコンサートを開催しました。
一千人のヴァイオリンの大合奏、生き生きとした瞳、凛とした姿、美しい音…。
国内外の演奏家や有識者たちが目を奪われ、耳を疑った瞬間でした。
それから50回、子どもたちの可能性は人々に感動を与え続けています。

初の試み、子どもの能力のすばらしさ

「できるだけたくさんの人に、子どもたちの可能性を感じてほしい」という思いで実現した第1回のコンサート。一千人もの子どもたちが一斉に演奏する初めての試みに、リハーサルなしで果たしてうまく合わせられるだろうか、東京体育館の土のグラウンドで音響は大丈夫だろうか…と大人たちの不安はひとしおでした。

しかし当日、そんな周囲の心配をよそに、子どもたちはすばらしい演奏で観客を魅了しました。事前のPRの甲斐もあり、当日は皇族・各国大使・新聞各社など錚々たる方々が出席。盛大な会の様子は翌日の新聞や各国メディアに大きく掲載され、子どもたちのすばらしい姿は出席した記者たちによって驚きをもって伝えられました。



第30回コンサートでの両陛下(1984年)



東京体育館で開かれた衝撃の第1回コンサート(1955年)

活動を支えた著名な人たち

1940~50年代の才能教育黎明期には、鈴木鎮一の考えに共感した多くの文化人や政・財界人の力が欠かせませんでした。初期の活動や考え方に力を添えた徳川義親侯爵、経済的に厳しい時代の講演・演奏活動、会館の建設にも尽力したソニー創業者・井深大氏をはじめ、いつもたくさんの人に支えられてきました。才能教育の全国規模の広がり、各地のそうした支援者が労を惜まず力を尽してくださったことが何よりの原動力でした。



1988年まで理事長、名誉会長としてご尽力くださった井深氏

「生まれつきの才能はない」

鈴木鎮一

才能は生まれつきではない。言葉の出来る限り、そこには人間の他の文化能力も育つ可能性が示されている。

才能教育では誰でもテストなしに受けとる。才能は育てるものだからである。

今日演奏する5歳以上の子供達一千人の育ちつつある姿は、決して特別な子供達の集まりではないのである。

才能教育に共鳴した同志の子供達が育ちつつある、たくましい人間の姿である。

一千人の子供がバッハやヴィヴァルディの協奏曲を共演するなどということは、恐らく世界で初めてのことであろう。

しかし私は思う。

この一千人の共演の姿と、その育てられた力こそは、地上の他の総ての子供達の可能性を代表するものであることを。

日本中の子供を、国の力で、大人の自覚の力で、一人残らずこのような芸術的人間性を育てる時代をつくりたい。そして又、日本中の子供を一人残らず、人間として真・善・美の感覚と能力の人に育てる義務教育時代にしてほしい。

地上の総ての子供が人間として好ましい心、美しい感覚、言葉のような立派な能力、正しさを知る力に育てられる時代をつくるのが、われわれ大人に与えられた一つのつとめであることを思う。平和への道も、これより他にないであろう。

地上の総ての子供の上に幸あれ

(第1回全国大会プログラムより抜粋)

子どもたちのコンサート

世界の芸術家たちの心を動かした瞬間

チェロのパブロ・カザルス、ヴァイオリンのダヴィド・オイストラフ、ユーディ・メニューイン、ヴィオラのウィリアム・プリムローズ、そしてフルートのマルセル・モイーズ…。グランドコンサートや公開レッスンに訪れた世界に名だたる音楽家たちが、



感動のあまり鈴木鎮一を抱くカザルス(1961年)



子どもたちを指揮するオイストラフ(1967年)

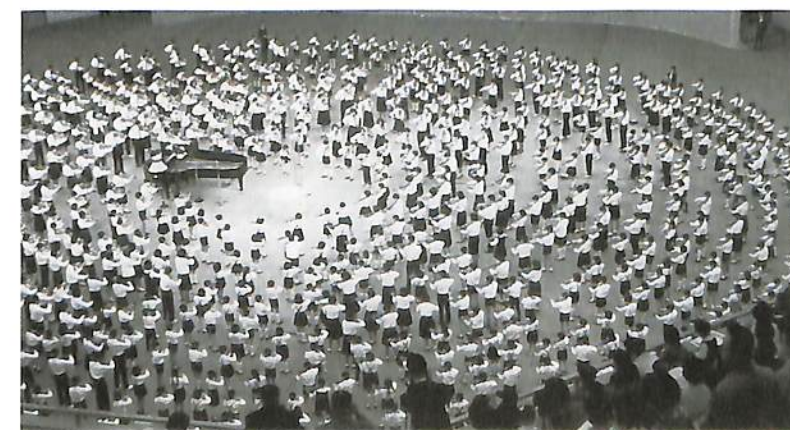


公開レッスンに訪れたモイーズ(1973年)

スズキの子どもたちの姿に大きな感動を表しました。音楽界の巨匠である彼らは、芸術家ならではの高い感性で子どもたちに豊かな感受性が育っていると感じとり、楽器を弾く難しさを知っているからこそ、すべての子どもたちが一糸乱れぬ弓の動きで嬉々としてヴァイオリンを操る姿にも魅せられたに違いありません。そして、さっきまで走り回っていた幼い子どもが、ヴァイオリンを手にすると真剣な表情になり、一人前の演奏家としてすばらしい音を奏でているという事実に、奇蹟を見たのかもしれない。

衝撃の第1回から50年、夢と憧れが未来へと続く

グランドコンサートは、毎年たくさんのお会いを演出しています。「あのお姉さんみたいに弾きたい」と目を輝かせる下級生、昔習った曲に新たな発見をする上級生、かつての自分を思い出す先生やOB、そして、子どものめざましい成長に涙を浮かべて見守る親…。



第12回グランドコンサート



楽器と一体となって美しい音を鳴らす



小さな子にはお姉さん、お兄さんとの演奏が何よりもうれしい



2人で弾くと、いつもと違う世界が広がる

「音楽は世界を救うであろう」

パブロ・カザルス

皆さん、私はいま、人間がみることのできる最も感動的な場面に列席しています。

私は、世界のどの国でもこのような限界にまで、示された愛情と誠実の心を、みることができないと思います。私がこの国へ来て、いつの瞬間も感じたことは、よりよい世界へ到達したい心の欲求が示されていることであり、また私に強い印象を与えたのは、人生の最も高貴なものに対する欲求でありました。

大人が、この子供達のように小さい人のことを考え、高い心と高貴な行いで、第一歩をはじめさせることは、なんと素晴らしいことでしょうか。そして、その方法は音楽なのです。音楽で訓練し、音楽で理解させる……。

音楽は、人生にとって最も高いものです。おそらく世界は、音楽によって救われるでしょう。

いま私は鈴木先生やご両親に「おめでとう」というばかりでなく、私の心からなる賛美と、心からなる尊敬と、そして最大の祝福をおくります。

この機会にもうひとつ申し上げられる幸せは、日本人は偉大なる人々であり、日本が行動・工業・芸術の面で偉大であるばかりではありません。日本は心の心であり、そしてこれは人類が第一に第一に第一に、必要とするものであります。

(子どもたちの演奏を聴いた氏のメッセージより抜粋)

海外で起きた「スズキ・インパクト」 感動から共感へ、世界を動か

初めて海を渡ったのは500人の子どもたちによるドッペルコンチェルトの映像。
信じられない光景を前に、世界の関心がスズキに向きはじめました。
その後30年にわたるスズキ・テンチルドレンの海外演奏、大きな感動、心の交流。
「スズキ・メソード」は今や世界38カ国の共通言語として広がっています。

アメリカからヨーロッパ、アジアへ

1964年のアメリカを皮切りに、30年間にわたって世界各地を演奏ツアーでまわった「テンチルドレン」。毎年10人のスズキ・チルドレンが、約1カ月間でアメリカ、オーストラリア、ヨーロッパ、東アジアなどの各地で演奏し、世界の人々に大きな感動と、子どもの可能性への新たな発見をもたらしました。



アメリカで感動を与えた子どもたちの演奏

その一つの象徴が、カーネギーホールでの日本人初の単独コンサート。満員の観客が日に涙を浮かべ、スタンディング・オベーションで子どもたちを見つめる姿…。世界の頂点で、音楽に厳しい観客たちを前に、スズキの子どもたちがまた奇蹟を起こした瞬間でした。

20カ国384都市でまいた種

テンチルドレンがはじまったのは、海外旅行も一般的でなく、時差にすらきちんとした理解がない時代。子どもを連れてアメリカへの演奏旅行など無茶だと思われました。しかし、そんな中でも30日間に30回以上のコンサートをこなした子どもたち。そこで与えた衝撃と感動が、世界のスズキ・メソードへのきっかけとなりました。



日米200人の子どもたちにカーター大統領が激励。ケネディ・センターにて(1978年)



行進しながらドッペルコンチェルトを演奏(1975年)

「音と向き合い自分をみがく大切さ」

八代真紀子(国際連合大学研究員)

私とスズキ・メソードとの出会い—それは、1歳の誕生日から始まりました。母が町の小児科で出会った一冊の本、鈴木先生の「愛に生きる」。本の中にあった「人は環境の子なり」「育て方次第」という言葉に衝撃を受け、お教室にかけ込んだそうです。

テンチルドレンの演奏旅行に参加させていただいたのが6歳の時、1979年の第15回ツアーからでした。一緒に音楽を楽しむことのできる生涯の友人を持たれたこと。考え方や文化の違いを越えて、色々な国々の人たちと通じ合えたこと。ホストファミリーの方たちのあたたかいもてなしを受けたこと等々。たくさんの宝物をいただきました。その体験が、現在の仕事の土台となっています。

そして、何よりも鈴木先生からいただいた大切なもの。それは、音と向き合って自分をみがいていくことの厳しさと尊さでした。一つのことを休むことなく続けることで、どんなことも努力し続ければ必ず道が開かれていく、という自信を与えられたように思います。



カーネギーホール主催コンサート。左端が八代さん(1984年)

しはばたきははじめた才能教育運動

世界に広がる「スズキ・メソード」

東洋の子どもたちが500人もの大人でパッハを演奏する映像。それに感銘を受けた一人が、米オベリン大学のクリフォード・クック教授でした。大学生を教えるのに苦心していた彼は、ほんの幼い子どもたちが誰一人として脱落することなく、皆で弓を合わせる姿に感動したと言います。

その後、米マスキング大学のジョン・ケンドール先生をはじめ、各地の教育者が共鳴し、たくさんの支持者が現れ、スズキ・メソードは瞬く間に全米へと広がりました。現在アメリカでは次々と「スズキ会館」が建設されています。オセアニアやヨーロッパ、アジアへの広がりもめざましく、今では世界38カ国でスズキ・メソードの教室が精力的に活動をしています。

子どもたちを尊敬し、信じる心

着ているものも気にせず、どんなところでもひざをつけて子どもと目線を合わせる。鈴木鎮一のこうした振る舞いには、未知なる可能性を秘めた子どもたちへの尊敬の念であふれていました。だからこそ、世界中どこでも先生のまわりは笑顔の子どもたちでいっぱいでした。



「一音聴けばどんな練習をしてきたかがわかる」と先生。ときには1週間楽器に触らず演奏テープだけを聴くよう指導したことも。

「鈴木先生はちょっと先生らしくない先生だった」とある人は言う。同じ目線の高さから子どもの心を自然に解き放つスズキ・マジック。



世界で認められた鈴木鎮一の栄誉

鈴木鎮一は、日本だけでなく世界各国で数々の栄誉を与えられました。その多くは音楽教育や心理分野での受賞であり、教育者としての鈴木鎮一が世界で認められました。

その他勲章

- ◆名誉音楽博士号 [米、ボストンのニューイングランド大学より] (1966年/68歳)
- ◆勳三等瑞宝章(1970年/72歳)
- ◆人間能力開発機構スペクトラ賞(1973年/75歳)
- ◆教育功労勲章[仏](1982年/84歳)

など多数



緑の大地から広がる音(オーストラリア)



アジアにも息づくスズキ(台湾)



カタルーニャ音楽堂で(スペイン)

決して叱らない。でも「よかったよ、悪かったところをのぞけば」などとユーモアに満ちた厳しい言葉も。これが鈴木流の愛情表現。



◆イザイ賞 (1969年/71歳)

◆ドイツ連邦共和国功労勲章 (1985年/87歳)



新たな時代のスズキ・メソッド 第二幕が今、はじまる



人間本来の生きる力を、成長するにつれて失っていく感性を、すべての子どもたちがより高くもつための試み、スズキ・メソッド。子どもへの真摯な思いは鈴木鎮一から現会長・豊田耕児へと受け継がれ、時代が変わった今でもその教育法のもと、たくさん子どもたちがただ楽器を弾くこと以上に大切な宝物も受け取り、未来へとほばたいしています。



楽器は違ってもみんなスズキ・チルドレン

感じる力

子ども時代は良いものも悪いものもすべて感じ取り、吸収します。「子どもにはわからないだろう」と、芸術的に高いものを与えなければ、本当に良いものを感じる心は失われていきます。音楽ならば最高の演奏家の最高の演奏を、ジャワーのようにあびせてあげる。鈴木鎮一は、子どもの感性をより高く育てる「よい環境」をこう唱えています。

親子の絆

子どもの才能をより高く育てるために、親の力は欠かせません。環境を整えること、家での毎日のおけいこ、好奇心旺盛な子どもをやる気にさせ、辛抱強く見守ること。ときには葛藤もあるでしょう。親子のレッスンは子どもと真剣に向きあう場。子ども時代の心と心の真剣な関わりは、大きくなって親子の絆をしっかりとつないでくれます。

自信と意欲

スズキ・メソッドでは、教本が進んでも以前にやった曲を何度でもくり返してレッスンします。グランドコンサートで必ず演奏する「キラキラ星変奏曲」がその代表。一つの曲と向かいあい、くり返し演奏することは、子どもの能力を育てるために大切です。くり返すことでつけた集中力や忍耐力、自信は、成長してもいろいろな場面で生かされ、生きていく上でのプラスになっていきます。

美しい音

世界の名演奏家たちは、スズキの子どもたちが奏でる「美しい音」に心を震わせました。良い音にこだわり続けることは、ただ楽器が弾けるだけでなく、音に対する感性を育てたいからです。楽器を構える正しい姿勢、音楽と真剣に向きあい自分自身を見つめること…。「美しい音」を追求するおけいこの中で、子どもたちは人間として大切なことを自然に身につけていきます。

物質的にも文化的にも飢えていた戦後間もない時代、多くの文化人・著名人を巻き込んで、「才能教育運動」は一気に加熱しました。それから50余年、物も情報も豊かで便利な現代。私たちの心は本当に豊かになったと言えるでしょうか？ 子どもが育つ環境の厳しさが叫ばれる今、求められる考え方、人間を育てるための理論とは…？ 美しい心、豊かな感性、親子の絆。スズキ・メソッドは、現代に忘れかけている大切なもの、子どもたちの幸せについて、親と先生、大人たちが真剣に考え、向かいあうためのメソッドであり続けたいと思います。

「スズキ・メソッドは日本が誇れる文化発信」

給田英哉 (国際交流基金理事・日米センター所長)

私がスズキ・メソッドにお世話になったのは才能教育の創生期の1949年から1955年まででした。松本での鈴木先生のレッスン、最初の夏期学校の合宿、共立講堂での第1回卒業式などは今でも大変に懐かしい思い出です。

私は音楽家への道は選ばず、40年間商社マンとして過ごしましたが、この間もヴァイオリンから離れることなくいつも音楽と共に生きて来ました。音楽を通じて知り合った多くの友人は私の人生を何倍にも豊かにしてくれたように思います。日本人外国人を問わずアンサンブルを通して、人と人との心の結び付き、深い信頼と友情を得る事ができました。

スズキ・メソッドがこれだけ世界中に広がったのは鈴木先生の哲学が人々の心を強く捉えたからでしょう。スズキは日本人として世界に誇れる日本からの「文化発信」です。私はスズキ・メソッドに巡り合えた事に大変に感謝をしています。その恩返し気持もこめて現在は常務理事の一人としてこの会の発展のために微力ながら努力していますが、一人でも多くの子どもたちがスズキ・メソッドと出会う事で鈴木先生の言われていた「明日の世界を担う文化人」として育てて欲しいと願ってやみません。



グランドコンサートで子どもたちと一緒に演奏する給田氏

- ◆大会委員長 中嶋 嶺雄
- ◆大会副委員長 給田 英哉 小倉 浩子 鈴木 裕子
- ◆実行委員長 佐藤 満
- ◆実行副委員長 小川 みよ子 川沼 千香子 赤澤 豪人 (東京事務所長)
- ◆実行委員 油 さよ子 石戸 寛子 井上 安芸子 上野 日出子
大塚 雅子 川沼 顕 神田 淳子 千田 成子
土屋 育代 長谷川 由佳 藤井 美和 守田 マヤ
山澤 敦子 吉永 美佳 和田 玲子 安達 美和
(社)才能教育研究会東京事務所
- ◆各科委員 神田 淳子 佐藤 満 中川 紅子
- ◆関東地区支部長会 幹事長 平岩 恵子 荒木 紀子 大川 富美子 後藤 芳子
幹事 大西 裕之 杉浦 恵美子 藤井 裕子 田中 義夫
佐藤 史子
- ◆ピアノ伴奏 臼井 文代
- ◆司会 宮内 恒雄 森本 洋子
- ◆翻訳 土橋 典子
- ◆賛助出演(等) (合唱) 正派邦楽会 総裁・家元 中島 靖子
会員有志の皆様
ハイリゲ フリュッセ コール構成合唱団 (船橋ハルモニア・パースリーヒル
混声合唱団・女声コーラス フリージア・すみだ男声合唱団・ビューティフル
エイジ・江東区、明治小学校あしぶえコーラス・日本ピアノ調律師協会男声
合唱団・学習院OBブラームス合唱団・学習院OB男声合唱団・他有志)
- ◆合唱・オーケストラ指導 吉川 清
ピアノ 萩元 聡一
- ◆作曲・編曲 加藤 千春
- ◆楽器提供・運搬 上杉 裕之 (世田谷楽友協会・世田谷交響楽団)
- ◆編集・デザイン・印刷 (株)工業社 (桑名・寺川・矢沢 03-3465-4855)
- ◆印刷 (株)秀巧社印刷 (江角 03-3591-9651)
電算印刷(株) (高山 03-3294-8094)
- ◆音響設営 (株)イーストウェーブ (今岡 03-3381-6226)
- ◆会場設営 (株)ムラヤマ (金重・水木 03-3813-1204)
- ◆照明設営 (株)共立 (志村 03-3469-1504)
- ◆ネット中継・CSTV 演出 ソニーコミュニケーションネットワーク(株) (滝内・八城 03-5420-2483)
(山浦 03-5500-1966)
- ◆フラワーデザイン BREEZE WAY (松山 03-3480-0401)

社団法人 才能教育研究会 The Talent Education Research Institute

◆本部 Head Office
〒390-8511 長野県松本市深志3-10-3
3-10-3 Fukashi, Matsumoto-shi, Nagano 390-8511
TEL 0263-32-7171 talent@suzukimethod.or.jp

◆東京事務所 Tokyo Office
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 駿河台スカイビル3F
Surugadai Sky Bldg. 3F, 2-3 Kanda Surugadai, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0062
TEL 03-3295-0270 tokyo@suzukimethod.or.jp

◆東海事務所 Tokai Office
〒461-0005 愛知県名古屋市中区東桜1-10-3 則武ビル6F
Noritake Bldg. 6F, 1-10-3 Higashisakura, Higashi-ku, Nagoya-shi, Aichi 461-0005
TEL 052-951-1352 tohkai@suzukimethod.or.jp



www.suzukimethod.or.jp



親才能教育研究会